

**授業概要**

日本語の構造上の特色について、おもに現代語を対象として、音声・音韻、文字・表記、語彙・語法、文法、敬語、文章・談話等、さまざまな観点から講義する。日本語の構造上の基礎的な知識や言語の構造を捉える観点・方法に関する基礎的な技能を学ぶ。また、言語学の視点から日本語学を捉え直す。

**授業計画**

第1回	日本語学とは？—国語・国語学・日本語学—
第2回	文字・表記—書き分けの原理—
第3回	書記史—“書く”という行為の歴史—
第4回	音声・音韻—音の組織とリズム単位—
第5回	音韻史—音の合流を中心に—
第6回	語彙—意味のネットワークと位相—
第7回	文法①—日本語の品詞と動詞活用—
第8回	文法②—日本語統語論の仕組み—
第9回	文法③—日本語文法のトピック—
第10回	文法史—形態・統語変化を中心に—
第11回	文章・談話—三つの捉え方—
第12回	敬語—“遠い言葉”敬語の働き—
第13回	方言①—方言の概観とダイナミズム—
第14回	方言②—言語行動の地域差—
第15回	まとめ—この科目で学んだこと—
第16回	レポート提出

**到達目標**

1. 日本語の構造に関する基礎的な知識を習得し、その特色が十分に理解できる。
2. 言語の構造を捉える観点・方法に関する基礎的な技能を身につけることができる。
3. 日本語に対する思考・判断、日本語による表現が適切にできる。

**履修上の注意**

遅刻・欠席はしないように。  
毎回リアクションペーパーを提出してもらう。  
関連科目として「日本語の文法」がある。

**予習復習**

その日のテキストの該当箇所を予め読んでおく。  
配布されたプリントを読み返す。

**評価方法**

①期末レポート 50%、 ②小課題 40%、 ③平常点、授業参加への積極性 10%

**テキスト**

・教科書名：『日本語学入門』  
・著者名：滝浦真人(編)  
・出版社名：放送大学教育振興会  
・出版年 (ISBN)：2020年 (978-4-595-32187-0)  
その他にも授業資料も配布する。参考文献は教場で適宜紹介する。